

令和4年4月7日

鳥取県知事定例記者会見

令和4年度令和新時代プロジェクトチーム

<検討項目>

<主な部局>

◎: 主管部局、○: 関係部局

●原子力安全対策

プロジェクトチーム

【チーム長：知事】

原子力に係る安全対策、避難対策、モニタリングの各分野の安全性、実効性の確認、原子力安全・防災体制の強化等に関する事

◎危機管理局
○福祉保健部 ○生活環境部 ○県土整備部
○地域づくり推進部 ○警察本部 他

●とっとりデジタル田園都市

プロジェクトチーム

【チーム長：知事】

本県らしいデジタル田園都市国家構想の実現に向けた、全庁を挙げたデジタル実装の取組の加速・拡大に関する事

◎デジタル・行財政改革局
○令和新時代創造本部 ○商工労働部
○農林水産部 他

●ポストコロナの人流・物流活性化

プロジェクトチーム

【チーム長：副知事】

本県の国内外の航空路・航路を取り巻く課題の分析による、コロナ後の人流・物流を本県に呼び込む取組に関する事

◎交流人口拡大本部 ◎商工労働部
○地域づくり推進部 ○県土整備部
○境港管理組合

●ポストコロナの産業・雇用・社会

プロジェクトチーム

【チーム長：統轄監】

コロナにより加速・定着した価値観や消費行動、ライフスタイルの変化など、ニューノーマルを取り入れた事業活動や社会活動の推進に関する事

◎新型コロナウイルス感染症対策本部事務局
○交流人口拡大本部 ○生活環境部
○商工労働部 ○市場開拓局

●脱炭素・環境イニシアティブ

プロジェクトチーム

【チーム長：統轄監】

循環型社会の構築、脱炭素社会の実現、自然・生物との共生に関する事

◎生活環境部
○総務部 ○農林水産部 ○商工労働部
○県土整備部 ○教育委員会

●県庁DX・業務改革

プロジェクトチーム

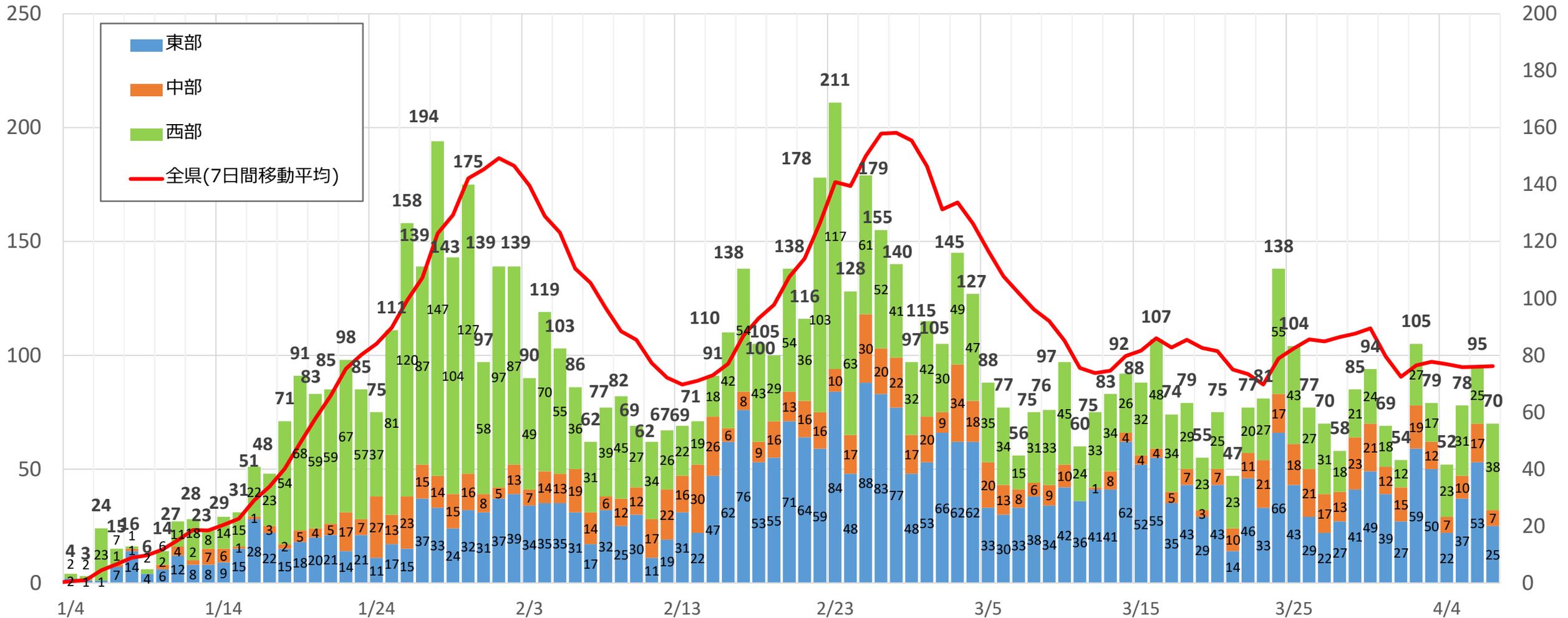
【チーム長：副知事】

県庁内の業務改善、県庁DX等の推進に関する事

◎総務部
○会計管理局 ○監査委員事務局
○教育委員会

第6波の新規陽性者数の推移

【公表日ベース】



1/4~4/7の保健所ごとの累計発表陽性者数

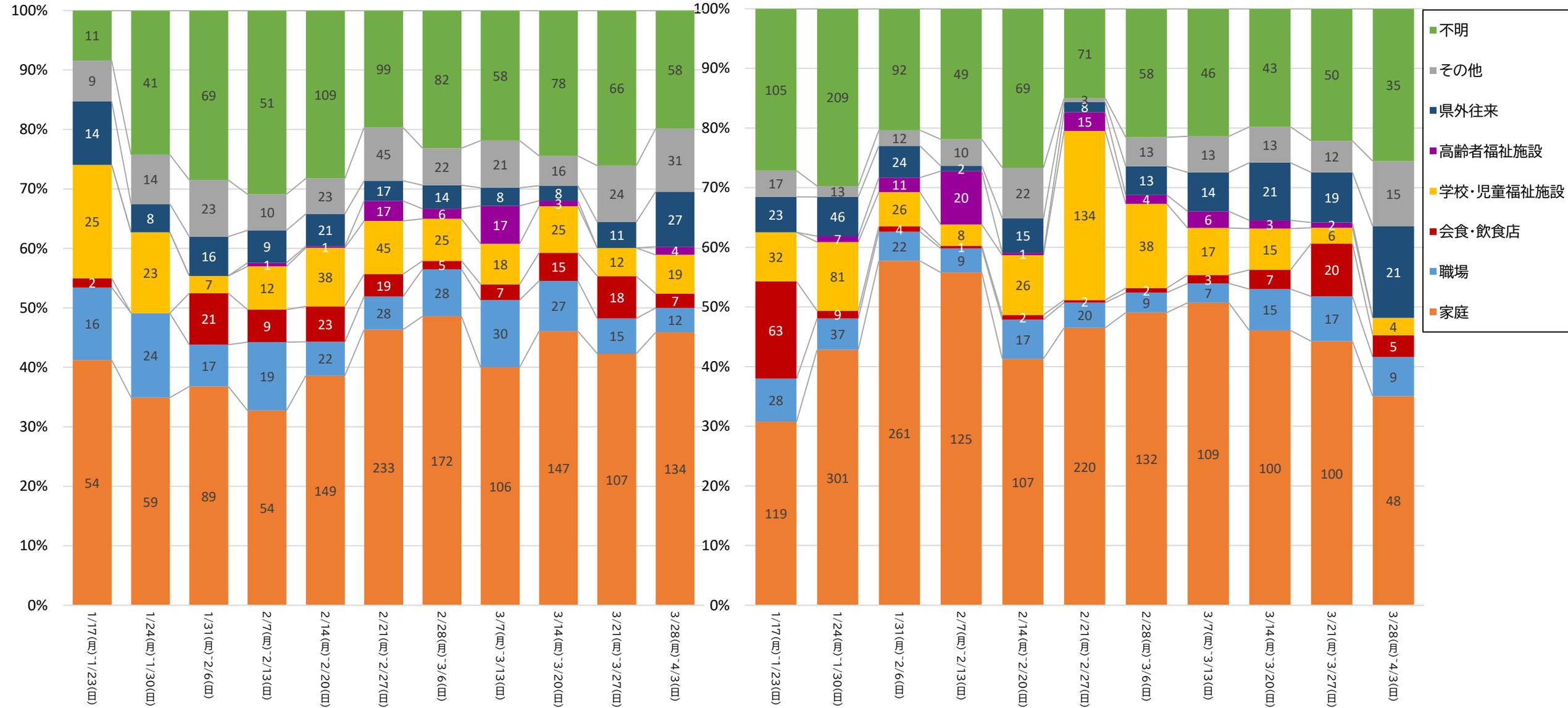
管轄保健所	鳥取	倉吉	米子	全県計
累計陽性者数	3,331	1,086	3,810	8,227

第6波の推定感染経路別割合の推移

【公表日ベース】

【東部】

【西部】



最近の集団感染事例で見られた感染リスクの高い行動等

新年度を迎える今こそ
体調管理、換気や消毒の徹底をお願いします！

スポーツジム・スポーツイベント・部活で……

- 換気が不十分な更衣室を同一のタイミングで多くの利用者が使用
- 声を出す場面や集合する場面での適切な距離の不足、マスク着用の不徹底

飲食店で……

- パーティションなど感染対策備品の使用方法の誤り
- 利用客のマスク着用の不徹底
- 飛沫対策や換気が不十分な環境でのカラオケの利用や喫煙

福祉施設(保育所・高齢者施設)や寮で……

- 体調不良者の通所や勤務
- 歯ブラシ、コップを密接して保管
- 共有スペースでの適切な距離の確保やパーティションの設置がない
- 手指消毒、施設内消毒の頻度が低い、濃度が適切でない消毒液の使用など、消毒方法が不十分
(例:濃度50%のアルコール消毒液→70%以上のものが適切)

BA.2・第7波特別対策プロジェクト

今後、県内において、感染力が非常に強いBA.2系統に置き換わりが進むことが想定されます。新規感染者数が第6波の2倍相当となった場合にも対応できる体制を構築し、社会経済活動を継続していきます。

Point1

感染拡大をしっかりと抑制

- 感染拡大時の保健所業務応援体制の整備
- BA.2判定の迅速化(BA.2の変異株スクリーニング実施に向けて技術検証を開始)
- 検査体制の充実(無料検査を4/10→4月末まで延長、大学生等への無料検査の実施)
- 学校、保育所、高齢者施設・医療機関等での感染拡大防止対策の一層の徹底

Point2

陽性者の回復ケアの充実

- 陽性者が倍増しても適切な医療や支援が継続できる療養体制の整備
- 在宅療養者の増加に対応する支援体制の強化・充実
- コロナ治療薬の対応医療機関・薬局の拡充

Point3

感染予防と社会経済活動の継続

- 社会経済活動の継続のためのコロナ対策に係る各種支援策の充実
- ワクチン接種の更なる推進
- 飲食・観光施設への巡回点検による安心した飲食・観光施設の利用
- 引き続いての感染防止対策の徹底、ニューノーマルな職場環境の推進

BA.2・第7波特別対策 保健所特別体制へ移行

陽性者が**倍増**しても保健所機能が維持できるように保健所応援体制を拡充

(特に積極的疫学調査・濃厚接触者の特定をスピーディーに行えるよう十分な**人員体制(最大300人)**を確保)

◆変異を繰り返す新型コロナウイルス感染症の特性に応じて迅速かつ機動的に立ち向かうため、4月1日から、本部事務局の体制を強化

- ・「**保健所応援チーム**」を設置し、感染拡大時の保健所応援業務を円滑に立ち上げる機能を強化
(チーム長は総務部長が兼務、**保健所業務を経験し、豊富な経験をもった職員50名に「保健所応援チーム」の兼務を発令済**)

◆クラスター発生が疑われる場合には、初期段階から特命チームを発動

- 職場全体でオミクロン株対策に全力で取り組む体制を継続し、総合事務所をはじめ区内全体で対策を実施中
 - ・米子70名、倉吉20名を派遣中
 - ・オミクロン株緊急体制として、**特命チーム(3チーム体制)**を継続中 ※倍増時には必要に応じて増員
- 鳥取市保健所に対しても、「鳥取市・オミクロン株対策緊急プロジェクト」として、随時、職員派遣や検体採取の支援を行うなど、市保健所との連携を実施
 - ・機動的に職員派遣や業務支援を拡充するよう鳥取市と調整済

行政PCR検査センターの拡充

PCR検査(検体採取)センターを外部委託により新規設置及び拡充し、濃厚接触者等の行政検査件数の増加に対応

【中部】 新規設置

現在、保健所で直営(検査調整→検体採取→検体搬送)

➡検体採取・搬送業務を外部委託

保健所以外に設置し、場所の狭さによる制約を解消

【西部】 対応件数拡充

現在、検体採取・搬送業務を外部委託(対応時間4時間)

➡対応時間の延長等により対応件数を増やす

◆無料検査

【特措法第24条第9項による受検要請】

12月31日(金)~4月10日(日)

⇒ **4月30日(土)** まで延長

大学等の感染防止対策

＜共通的に実施＞

- ・新入生に対する健康観察・記録実施
(2週間前からの体温測定、1週間前までの県内住居地への移動の呼びかけ など)
- ・「保健管理センター」「保健室」での健康相談の実施
- ・積極的なワクチン接種の呼びかけ 等

＜構内での無料検査場の設置＞

- ・公立鳥取環境大学:4/5~8で抗原定性検査(1,100人分)を実施
- ・鳥取大学:未検査者向け無料検査場を設置予定
(医学部医学科新入生に対しては4/1、4/4にPCR検査実施済)

※鳥取看護大学・短期大学は、新入生に対し、入学式2週間前からの健康行動記録表提出、来県前のPCR検査等の受検、1週間前までには県内へ転居のうえ、健康観察等を実施済

＜大学生向け感染防止対策チラシでの啓発＞

- ・学生の活動が活発化する新学期開始時期に感染の再拡大を招かないよう、大学を通じ学生ひとり一人に向けて、基本的な感染防止の取組の徹底について呼びかけ
 - 歓送迎会等でのマナー順守(少人数・短時間、個食徹底、対策済飲食店の利用、ホームパーティーでも感染対策)
 - 積極的なワクチン接種(感染予防、発症予防、重症化予防が期待できることを啓発)
 - 基本的な感染防止対策の徹底(マスク着用、手洗い・手指消毒・換気徹底、体調が悪ければ外出・登校を自粛)

⇒ 各大学等の学生ガイダンス等(4/5以降順次)で幅広く周知

県立学校の感染防止対策について

4月7日（木）から多くの学校で新学期が始まりました。
児童・生徒の皆さん一人ひとりが高い意識をもって、感染リスクの高い行動は控える
など、感染防止対策に取り組みましょう。

◆春休み中に県外を訪問した生徒は、積極的に無料PCR検査の受検を指導

- 県外での部活動の大会に参加した生徒、私用で県外を訪問した生徒
- 県外からの帰省者と接触した生徒
- 県外から入寮、県外の帰省先から帰寮する生徒

◆臨時休業の対応

学校関係者の感染が確認された場合は、原則一先ず臨時休業

（ただし、接触範囲等が特定できた場合は、保健所に確認の上、学年閉鎖、学級閉鎖等を検討）

◆学校長等を対象に研修会を実施（4月8日）し、感染防止対策の徹底を図る

◆感染対策をより一層徹底

○児童生徒及び教職員の体調管理、健康観察の徹底（日々の検温等）

→本人又は家族が体調不良の場合は、登校せず自宅療養等

○特に、新入生に対して、感染防止対策を丁寧に指導

○マスクの正しい着用（不織布マスクの推奨）、手洗い、換気等の徹底

○食事の際は、対面としない工夫を行い、黙食を徹底

県立学校の感染防止対策について

◆部活動の対応

○現在の感染状況を踏まえ、4月5日（火）から全ての学校の部活動を一旦中止し、

7日（木）に顧問と生徒で感染対策を確認し、管理職による点検の上、問題なければ、8日（金）以降に活動再開

○体調管理を徹底

※本人の体調に不安がある場合、又は家族に体調不良者がいる場合は活動に参加しない

○運動時以外のマスクの着用（休憩中、ミーティング中等）

※指導者及びマネージャー等、活動を行わない者も不織布マスクを着用

○部室、更衣室等利用時の感染防止の徹底

※マスク着用、利用人数、換気、飲食禁止、会話を控える、注意事項の掲示等

◆学校寮の対応

○感染症対策ガイドラインに則った感染防止対策のより一層の徹底

→寮生の体調管理、健康観察の徹底（日々の検温等）

→寮内での常時マスクの着用、帰寮時の手指消毒の徹底

◎市町村教育委員会にも上記内容を情報提供し、引き続き感染防止対策を徹底するよう依頼

◎私立中・高等学校にも上記内容を情報提供し、県立学校と同様の感染防止対策の徹底を要請

保育所・幼稚園等、放課後児童クラブにおける感染対策

新年度を迎え、**新しい園児や児童が増える時期**であり、また**異動により職員の入れ替わりがある時期**です。

改めて、**感染予防の意識を高め、より一層の警戒**をお願いします。

<予防対策> 積極的な検査等による感染予防

○職員の体調管理の徹底等

職員の健康管理を徹底し、少しの発熱、喉の違和感、倦怠感など、体調不良があった場合には出勤せず、早めに受診してください。

⇒PCR検査補助金(4月末まで)も積極的にご活用ください。

○家庭内における園児の感染予防

家庭内感染に起因する施設での感染事例が発生してることを踏まえ、園児の家庭内における感染予防の再徹底をお願いします。

⇒体調不良等の場合は登園を控えてください。

<研修実施> BA.2感染予防、感染拡大対策を周知徹底

○研修動画の配信 (4/5配信)

新たな職員体制で、研修を4月中に受講していただき、改めて施設内の感染対策の共有をお願いします。

【研修内容】

保育施設等における感染予防対策、クラスター発生防止 など

講師：鳥取看護大学 荒川教授

対象：保育所・幼稚園等、放課後児童クラブ、保育関係団体

○新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインの再確認・徹底

医療機関・高齢者施設の感染予防・拡大抑制対策

<予防対策> 積極的な検査等による感染予防

- 無料PCR検査等の積極実施(4月末まで延長)
- 職員の体調管理、家庭内における感染予防の徹底

<拡大抑制対策>陽性者が発生した際に専門家・特命チームの派遣による感染拡大抑制

- 感染管理認定看護師など専門家の派遣
- 社会福祉施設感染拡大防止特命チームによる感染拡大抑制の支援
西部:1名常駐、中部:1名サテライト勤務 ⇒ 状況に応じてさらに拡充
- 高齢者施設への医師の往診体制の準備を進め、療養環境を充実



医療機関や高齢者施設を対象とした研修を実施し、感染予防、拡大抑制対策を周知徹底

※介護4回実施(4/8日、11日、15日、21日)
医療1回実施(4/11日)

BA.2の特徴、感染予防対策、拡大抑制への注意喚起、発生時の初動対応、ゾーニング指導、適切な防護服の着脱方法、治療薬の投与方法等の紹介 など

講師：鳥大医学部千酌教授、松山感染管理認定看護師、大畑感染管理認定看護師
対象：病院、入所系福祉施設

BA.2・第7波特別対策(医療提供体制)

陽性者が倍増しても適切な医療や支援を継続できる体制整備に着手
～トリアージを組み合わせたセーフティネットを構築～

3月までの最大値		備考
入院者	146 (1月16日)	入院を基本に療養先調整した1月が最多。症状に応じて調整した2月以降は入院患者が減少。[月別最大値] 1月:146人、2月:95人、3月:22人
宿泊療養者	162 (2月28日)	東中西各地区に開設。客室数の多い宿泊施設で効率的に健康サポートを実施中。
在宅療養者	1,090 (3月2日)	電話とアプリを組み合わせで健康サポートを実施中。 有症状者は10日間経過、無症状者は7日間経過で療養解除可能。(2/2～)



倍増想定値
292
324
2,180

1. 病床確保 最大確保病床数 350床

- ・さらなる拡大時の対応について医療機関と協議を進める
- ・高齢者施設や療養病床での感染発生時の療養継続体制整備を推進

2. 宿泊療養 確保室数 459室

- ・施設の追加確保を検討
- ・看護協会と連携し、24時間健康サポートを担う看護人材を追加確保
- ・必要に応じて圏域を超えた入所調整を実施
- ・鳥取方式あんしん投薬システムで円滑に薬剤処方
- ・臨時医療施設での医療的ケアを充実(その場での治療薬投与、入院対応)

BA.2・第7波特別対策(医療提供体制)

3. 在宅療養(高齢者等入所施設含む)

BA.2系統の増加に伴う最大の受け皿として想定される在宅療養について、重層的な支援体制により、きめ細かな健康サポート・生活支援を確保

・保健所業務体制の充実

(パルスオキシメーター貸与、食料配布、在宅療養患者への各種説明、療養証明書発行等)

【倉吉保健所】 応援職員6名体制/日 → 最大12名体制/日まで増員<保健所応援チーム>

【米子保健所】 応援職員8名体制/日 → 最大16名体制/日まで増員<保健所応援チーム>

併せて、パルスオキシメーター貸与・回収、食料配布等の定型業務について積極的に外部委託を検討。

・「県庁HER-SYS班」の体制強化

現行6名(2名体制/日) → 最大12名(5名体制/日)まで増員<県庁応援職員>

・保健所、訪問看護ステーションによる健康観察体制の整備充実

保健師、訪問看護師による24時間健康サポート、生活支援物資の調達、配送

OB・OG保健師の活用により体制を拡充

・かかりつけ医、薬剤師による健康観察体制の整備充実

感染ひっ迫時に、医療提供や薬剤の処方が必要な在宅療養者に対してきめ細かな健康観察が実施できるよう、引き続き体制の整備充実を図る(4月8日現在:協力医療機関 125施設)

・市町村との連携を強化(市町村保健師による健康サポート、生活支援物資配送等)

在宅療養患者への緊急的な対応が必要な場合や、生活支援物資の配送時などに、市町村による地の利を生かした迅速な対応が行えるよう、引き続き連携体制を強化する

BA.2・第7波特別対策(医療提供体制)

4. 治療薬

- ・塩野義製薬が開発中の経口抗ウイルス薬の薬事承認に備え、県内に早期に広く配備できるように医師会・薬剤師会と体制づくりに着手
- ・抗ウイルス点滴薬「レムデシビル」の早期投与を推進(R4.3.18に軽症者にも適応拡大)
- ・入院協力医療機関以外の病院や診療所等(かかりつけ医)においても速やかに投与又は処方できる体制構築を推進

➡ 診療所の医師、高齢者施設勤務医等を対象に治療薬に関する研修会を実施

【現在の県内での取扱い状況】

種別	治療薬名	登録機関数	使用実績	現在の配備ルール等
経口抗ウイルス薬	パキロビットパック (ファイザー)	19医療機関 3薬局	4人(2月末時点)	・院外処方試験運用のみ ・在庫配置:5人分まで ※オミクロン株にも有効
	ラゲブリオ (メルク)	68医療機関 105薬局	106人(3/15時点) ※薬局で8人の投与実績報告あり	・院内・院外処方可能 ・在庫配置:3人分まで ※オミクロン株にも有効
中和抗体薬	ゼビュディ (グラクソ・スミスクライン)	21病院	234人(2月末時点)	・在庫配置:3人分まで ※オミクロン株にも有効
	ロナプリーブ (中外製薬)	19病院	109人(2月末時点)	・在庫配置:6人分(3バイアル)まで ※オミクロン株への投与は非推奨

BA.2・第7波特別対策 ワクチン接種の更なる推進

- ・ **ワクチン接種は、BA.2の発症予防に有効です** (英国健康安全保障庁 (UKHSA))

追加接種後2-4週間の
発症予防効果

BA.1	BA.2
69%	74%



感染拡大抑止にはワクチン接種が重要

職域接種の推進

「鳥取型職域共同接種体制推進プロジェクト」で、企業・事業所単位での団体受け入れを開始します(団体接種
枠の新設)

<対 象> 県内に所在する企業・事業所

<受付単位> 被接種者概ね5人以上

<受付方法> 企業等は接種希望者リストを作成して、4日前までにコールセンターに申し込む

・東部会場(鳥取市文化センター) 4月:10,14,15,16,17,21,22,23,24 5月:3,4,5,7,8,14,15,21,22

・西部会場(米子産業体育館) 4月:16,17,23,24,29,30 5月:4,5,7,8,14,21,22

**関係団体に幅広く呼びかけ
職域接種を推進する**

○単独実施の職域団体の接種状況(13会場)

4月7日時点

会場名	開始日	接種済数	会場名	開始日	接種済数
鳥取商工会議所	4/2	795	JR西日本米子支社	3/3	127
サンマート	3/17	1,209	陸上自衛隊米子駐屯地	3/18	22
気高電機	3/24	514	境港水産振興協会	4/6	562
グッドヒル	3/20	1,035(接種完了)	航空自衛隊美保基地	2/28	88
鳥取中部観光推進機構	3/16	1,047(接種完了)	今後の開始予定…… ジャパンディスプレイ(4/14)		

大学での接種 鳥取短期大学、鳥取看護大学(3月中に実施済み)

公立鳥取環境大学(4/23) 鳥取大学(鳥取(5/12)・米子(検討中))

武田社ノバックス 県が接種会場を設置の方向で早ければ5月開始で検討中(アレルギー等のためmRNAワクチンを打てない方等向け)

BA.2・第7波特別対策 ワクチン接種の更なる推進

接種勧奨の推進

新規陽性者の約半数が10～20代の若者であることから、若者向け接種勧奨を展開

◎ 「新成人おめでとう！キャンペーン」

4月から新たに成人となる18～20歳の方が県営会場で接種されると、お祝いとしてささやかなミニプレゼントを差し上げます

◎ 高校生・大学生の接種促進

学校へのチラシ配布・メール送付、出前講座の実施

◎ 5～11歳の小児接種の必要性PR

地元テレビ局情報番組で、小児接種の必要性をPR

その他の年代に対しても、県・市町村による接種促進策を実施

◎ 県によるメディア広報（新聞、テレビCM、SNS等）、県営会場の開設

◎ 市町村による未接種者への個別勧奨等、有効な取組みの横展開



県営接種会場の開設

最短20分で接種完了可能な県営接種会場は、当日でも予約可能で簡単予約

<4～5月の開設日> ※今後も開設日を追加発表予定

4/9,10：新日本海新聞社 4/16,17：倉吉シティホテル 5/14：米子しんまち天満屋

“とっとりデジタル田園都市”の実現に向けて

デジタル技術を積極的に活用し、県民生活の向上・産業振興などにつなげる

➤ 「とっとりデジタル田園都市PT」の設置

- 本県らしいデジタル田園都市国家構想の実現に向け、全庁挙げて取組を加速・拡大

➤ デジタル田園都市国家構想推進交付金の採択決定

- スマート農業技術(自動操舵トラクター等)・スマート林業技術(ドローン等)の実装により、生産性向上による所得向上と、省力化による多様な働き手確保に繋げる

でじでん

➤ 「Digi田甲子園」の開催

- 全国各地のデジタル技術を活用した優良な取組を募集、表彰
- 今夏に鳥取県代表を選考予定 詳細は後日発表

都道府県

で 全国初

「とっとりSDGs企業認証制度」本日公募開始

環境

社会

経済

3つの側面で企業活動を評価

～5/13
受付中!

将来の事業継続

を目指す県内企業を

認証

企業価値の向上

人材の確保・育成

ビジネスチャンスの拡大

が期待されます

評価ポイント(全30項目)

環境

<省エネ> 燃料、電力消費量の削減 / 再生可能エネルギーの導入 / 廃棄物削減 など

社会

女性の活躍 / 障がい者が働きやすい職場づくり / 労働者の人権配慮 など

経済

事業継続計画(BCP)の策定 / 法令順守の取組徹底 / 多様な働き方の促進 など

認証メリット

▶ SDGs経営のための

低利融資

補助金

ビジネスマッチング

など

オリジナル
ロゴマークを
使用できます!



第36回全国健康福祉祭(ねんりんピック)鳥取大会

全国約1,000作品から厳選した

4作品の中から大会テーマを決定します！

<ファイナル4作品>

- **ねんりん で 弥生の王国
もりあがり**
- **咲かせよう 砂丘に長寿と
笑みの花**
- **鳥取に 長寿の翼 熱く舞う**
- **繋げよう 海・山・砂丘に
笑顔の輪**

【県民投票】4月13日～22日

ネットで投票いただいた方から
抽選で3名に『星空舞』

50名に『松葉ガニボールペン』プレゼント!!



【基本構想策定拡大会議】4月下旬

市町村長や競技団体代表者等による投票
※大会の基本構想も決定

総合集計し **大会テーマを決定**

策定委員会
最終案

■大会愛称:ねんりんピックはばたけ鳥取2024

■期日:令和6年10月19日(土)～22日(火)

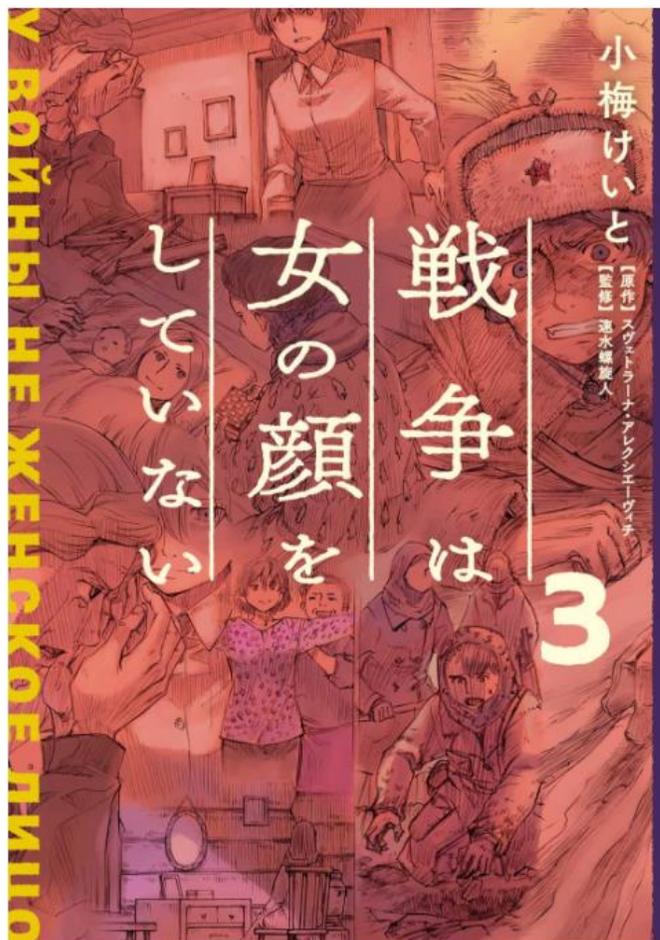
ねんりん 鳥取

検索

■種目(60歳以上):グラウンドゴルフ、サイクリングなど、ねんりん初開催(eスポーツ、バウンズボール)含む29種目

■イベント:幅広い世代が参加できる多彩な催し(講演会、音楽祭、美術展、地域文化伝承館、ニュースポーツ体験など)

まんが王国とっとりから平和の祈りを



日本漫画家協会賞(2021)

／まんが王国とっとり賞

戦争は女の顔をしていない

／漫画 小梅けいと

第11回 まんが王国とっとり
MANGA KINGDOM TOTTORI
INTERNATIONAL COMIC ART
CONTEST
国際マンガコンテスト

募集期間
2022 4/20水 ⇒ 8/31水

募集部門
1 コママンガ部門
4 コママンガ部門
ストーリーマンガ部門

テーマ
星

最優秀賞 賞金 50万円 (1作品)
優秀賞 賞金 10万円 (2作品)
審査員特別賞 賞金 5万円 (3作品程度)
U-15賞 (対象15歳以下) 記念品 3万円 (3作品程度)

[主催・問い合わせ先]
鳥取県まんが王国官房 TEL 0857-26-7801 FAX 0857-26-8307
E-mail mangaokoku@pref.tottori.lg.jp
まんが王国とっとり 検索
https://www.pref.tottori.lg.jp/mangacontest

国際マンガコンテストにおける
ウクライナ作家の活躍

第1回(2012)

審査員特別賞

『黒いイガイ』

レレキナ・ナタリア

第2回(2013)

最優秀賞

『私の手の平にある世界』

原作:マルチネンコ・ナタリア

作画:レレキナ・ナタリア

第3回(2014)

審査員特別賞

『フルクと私』

原作:Maikrait

作画:Asafo(ロシア)